

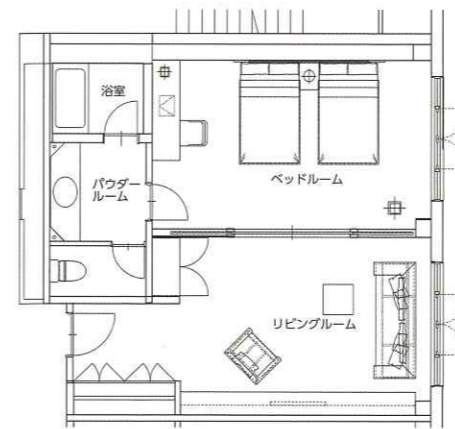
# KYUKARUIZAWA KIKYO, Curio Collection by Hilton

長野県北佐久郡軽井沢町

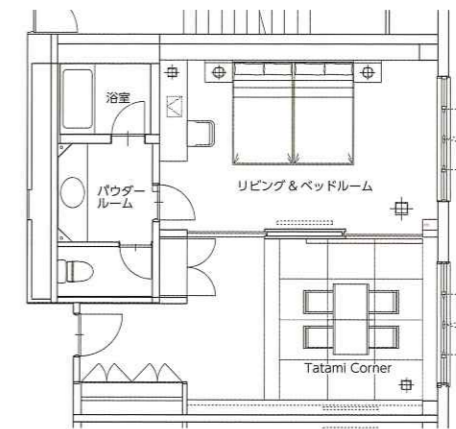
内装設計 / 橋本夕紀夫デザインスタジオ  
 施工 / 東急Re・デザイン  
 KYUKARUIZAWA KIKYO, Curio Collection by Hilton  
 hashimoto yukio design studio



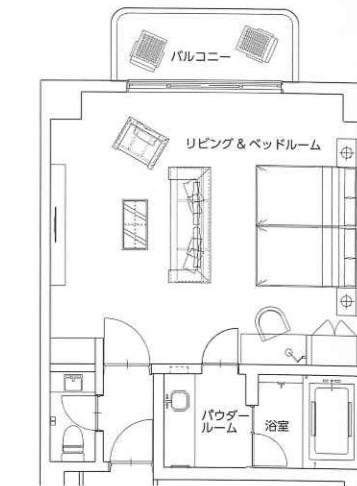
上/プレミアム・ルーム with Tatami Corner Tatami Cornerよりベッドルームを見る 左中/コートヤード・スイート リビングより見る 左下/デラックス・ルーム  
 右下/コートヤード・デラックスルームのリビング



プレミアム・ルーム平面図 縮尺1/150



プレミアム・ルーム with Tatami Corner平面図



デラックス・ルーム平面図

## 設計主旨

KYUKARUIZAWA KIKYO, Curio Collection by Hiltonはヒルトンホテルの「キュリオ・コレクション」として国内初進出となるホテルである。キュリオ・コレクションはその土地ならではの良さを取り入れることが特徴の1つで、軽井沢の風土や地域性を生かしたデザインが求められた。2015年のリニューアルをベースに、既存を残す部分と新しくデザインする部分が調和することを意識し、地元の工芸である軽井沢彫りをアートワークに取り入れて、ここにしかない雰囲気を作りたいと考えた。改修エリアは全客室と地下に新設するスパエリアである。客室は「ELEGANT×RESORT」をコンセプトにしている。軽井沢は日本を代表する高原リゾートであると同時に、古くから様々な文化人に愛されてきたハイソサエティなイメージも持っている。そこで、リゾートの雰囲気の中に、エレガントで上品な要素をあえて取り入れることで、他にはないリゾートホテルのイメージが作れるのではないかと考えた。天井や壁にモールディングが施されたクラシックな既存のデザインに対し、新たに黒のフレームをキーモチーフとして空間を再構成していくこととした。

リビングルームでは、テレビキャビネットとテーブルを中心に天井からペンダント照明を取付け、それをさらに黒のフレームで囲っている。造作ソファはフレームの中に背と座のクッションをはめ込んだようなデザインとした。ベッドルームでは、同じく黒のフレームを取付け、その内側にホテルのシンボルである桔梗の花をあしらった軽井沢彫りのアートワークを設置した。また、部屋タイプによ

てはベッドまわりを天蓋状に組まれた既設のフレームがあり、それとも違和感なく共存できるようにしている。家具の一部に使用したレザーには糸でステッチを入れ、細部にも気を配った。床のカーペットは落ち葉をグラフィック化した特注製作で、部屋の中であっても森の中を散策するようなイメージを持たせた。クッションやラグにはビビッドなオレンジ色やホテルカラーの桔梗色を取り入れたことで、少レクフルな印象であった空間に色味を与えている。

スパエリアはスケルトンからの計画であった。地下階のため、ドライエリアからの僅かな外光しか取り込めない場所であったが、むしろその条件を生かし、利用者がゆっくりと時を過ごせる瞑想空間のようなデザインにしたいと考え、スパエリアのコンセプトを「SILENT SPA」とした。スパエントランスに配置した山桜のオブジェは木曾の職人によるもので、原木の質感をあえて残したものとした。行灯照明で照らされた通路を抜けて中に入ると、2タイプのお風呂がある。1つ目のお風呂では光をテーマとしている。ドライエリアを利用して、壁の向こうから唯一入る外光と照明との併用で朝・昼・夜の自然光を表現した。時間帯によって光量と色温度をコントロールす

ることで、外部は見えないが光の変化によって外を感じるようにしている。2つ目のお風呂では石や木といった自然素材を用いてシンプルに構成している。浴槽に面した壁に自然石を積み上げるように貼り、框には檜の無垢材を使用した。洗い場との隔て壁には、御影石のスラブ材を削り出し、単なる間仕切りではなく石の彫刻のように設置している。外部から閉ざされた空間でありながらも静かに時間や自然を感じる空間を狙っている。共用部では、客室階廊下の壁面に桔梗の花の軽井沢彫りを120個点在させている。従来は濃茶色の染色であるが、ここで使用しているブルーの染色は桔梗色をイメージしており、軽井沢彫りとしても初の試みは工芸をアートとして捉えている。新しくデザインする要素や地域の産業が、既存のエリアと融合することで、独自の個性を持つホテルとなることを目指した。

(橋本夕紀夫 / 橋本夕紀夫デザインスタジオ)

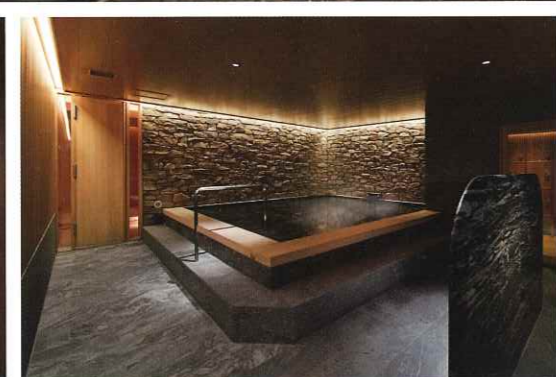
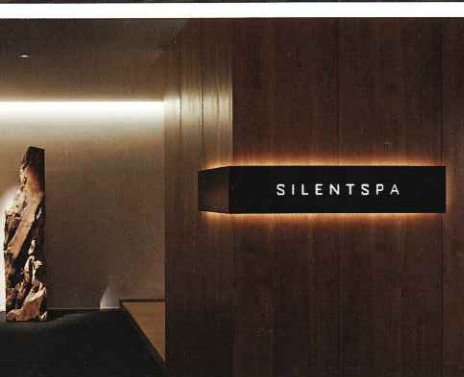
橋本夕紀夫……はしもと ゆきお  
 1962年愛知県生まれ。1986年愛知県立芸術大学デザイン学科卒業。同年スーパーポテト入社。1996年橋本夕紀夫デザインスタジオ設立。現在、愛知県立芸術大学非常勤講師、昭和女子大学非常勤講師



桔梗のレリーフをあしらった宿泊棟廊下



プレミアム・ルーム with Tatami Corner夜景



上/光をテーマとした大浴場全景 左下/スパエリアのエントランス 中下/岩をテーマとした大浴場全景 右下/脱衣所内観



脱衣所のパウダーコーナー



スパエリア平面図 縮尺1/250

### 施工計画

我々、東急Re・デザインは、施工管理を担当した。担当範囲は施工管理全般、橋本夕紀夫氏とのデザイン調整の他、造作家具の製作などになる。

今回の改修は、工期内にいかにおさめるか、改修の場合に出てくる想定外の課題をいかにクリアするかが、ポイントとなった。

#### 一 地下大浴場の漏水対策

既存大浴場は解体されたまま手つかずの状態になっており、一部外壁からの漏水がみられた。スケジュール的にも余裕がない中、いち早くこの問題を解決すべく、まずは現状把握の調査をし、対策を練る必要があった。調査でも二重壁を解体する必要があり、幾度かの止水処理を施した上、止めきれない湧水をピットに誘導するといった大掛かりな工事となった。

#### 一 大浴場 既存図と現場寸法の差異

計画は既存図寸法を基に進めていたが、施工図を起こす段階で既存図と現場の寸法に

大きな差異があることが判明し、排水処理の経路を壁内から床下に変更するなど、大きな変更を要することとなった。既存のスラブ厚がまちまちであったり、天井に配管があるため上げることも難しく、さらには床下での排水勾配も確保する必要があったり、ギリギリの寸法で高さを確保していった。

#### 一 客室の排水問題

客室の排水の流れが悪いという依頼を受け、初めはなかなか原因が特定できずにいたが、全部屋に対して試験を行ったところ、通常の使用時は問題がないが、一部の部屋のみ水をためて一気に流すと詰まってしまうという現象が起こることが発覚。さらに原因を探ったところ、排水の合流ポイントに入るはずのない落ち葉が詰まっていたことが判明した。

#### 一 造作家具の変更

50室と規模が小さく、また客室タイプも多く、海外で家具製作するコストメリットが期待できなかったため、国内工場での家具製作を行うこととした。何とかスケジュールに間に合うよう

にモックアップの確認を行ったが、確認後には修正点が発生。さらに工期を圧迫する状況となったが、本生産では家具の部品をそれぞれ別々の工場で作って現場で組み立てるといった異例の策を取ることで解決した。

改修工事は、短期勝負のため、既存の把握の段階から仮説を立てつつ計画を行うことが重要。仕上がりにほとんど現れていなくても、見えないところにどれだけ想像力を働かせられるか、当時の施工状況を仮想できるかという点が、新築と違う醍醐味である。また、いかにチーム力をあげてみんなで同じ目標を進めるかがとても重要だということを当案件を通して改めて実感した。発注者、デザイナー、協力会社等、関係者の方々の協力を頂き、無事完成することができた。

(黒沢貴匡、上野 誠/東急Re・デザイン)



大浴場施工状況



客室照明施工状況

黒沢 貴匡……くるさわ たかまさ  
1978年生まれ。2001年東洋大学工学部建築学科卒業、同年東急アメニックス(現東急Re・デザイン)入社

上野 誠……うえの まこと  
1981年生まれ。2001年宮崎ユニバーサルカレッジ建築学科卒業、2014年東急ホームズ(現東急Re・デザイン)入社

KYUKARUIZAWA KIKYO,  
Curio Collection by Hilton データ  
所在地 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢491-5  
主要用途 ホテル  
建築主 東急不動産株式会社  
内装設計 橋本夕紀夫デザインスタジオ  
担当/橋本夕紀夫、東 克紀  
照明計画 モデュレックス 担当/川上和士、樋引良太

施工 東急Re・デザイン  
担当/黒沢貴匡、上野 誠  
設計期間 2017年5月~2017年10月  
工事期間 2018年1月~2018年4月  
[建築概要]  
敷地面積 5,840㎡  
建築面積 A1,058㎡、B993㎡、C456㎡、D86㎡  
延床面積 7,069㎡

建ぺい率 44.52% (許容60%)  
容積率 106.49% (許容200%)  
構造規模 A: RC造ラーメン構造 地下1階、S造ラーメン構造 地下3階 B: RC造ラーメン構造 地下1階、地上2階 C: RC造ラーメン構造 地下1階、地上1・2階 D: 木造 地上1階  
最高高さ A9.95m、B9.95m、C8.2m、D9.95m  
軒高 A7.7m、B9.7m、C6.2m、D3.9m  
階高 A: 地下1階3.97m、1階3.78m、2・3階3.0m  
B: 地下1階3.9m、1階3.8m、2階3.7m  
C: 地下1階3.9m、1階6.2m、2階2.3m

[主な内仕仕上げ]  
客室 床/特注カーペット 壁/天井/既存  
大浴場前室 床/フローリング張 壁/漆喰 天井/塗装  
大浴場 床/御影石 壁/御影石、アルミ角パイプ+木目調シート貼 天井/木目調アルミスパンドレル

撮影/ナカサ&パートナーズ

電気設備工事	鶴原電気商会
機械設備工事	日管
建築工事	建設企画
クロス・カーペット	東リ
塗装工事	イシダ
特注照明器具	ナカムラ・コーポレーション



アプローチより外観全景を見る